



# ジャガイモ

芝山経済センター  
営農指導員 能勢 浩一

種イモが届いたら、ムレや腐敗を防ぐため速やかに開封してイモを広げ、中身を確認してください。傷み、変色、腐敗を発見したらすぐに取り除き、4〜5℃の通気の良いところに保管しましょう。また、浴光催芽で欠株と生育のばらつきを防止しましょう。浴光催芽は品種により異なりますが、20日ぐら必要です。

その後、種イモはコンテナに入れ、日中温度が25℃以上にならないように温度管理しましょう。夜間は温度が下がるので、凍結しないように注意してください。



## 植え付け準備

催芽が完了した種イモは、一片の重さが40g前後で2〜3個の芽がつくように切断し、2日程度陰干ししましょう。また、黒あざ病予防のため、種イモはバリダシン粉剤DLを種イモ重量の0.3%粉衣処理しましょう。

**圃場の準備および植え付け**

PHの高いところ(6.5以上)では、作付けを控えるか、石灰質肥料を控えるにしましょう。施肥例は表③を参考にしてください。「畑のカルシウム」は、PHの高い圃場でもPHを変化させずにカルシウムを補給できるおすすめの石灰資材です。

してダイアジノン粒剤5を10㎡当たり6kg施用します。

植え付けは畝幅90cm、株間25〜30cm、深さ10cm前後で行います。雑草の発生が多い圃場は、植え付け後にゴーゴーサン乳剤を散布しましょう。

表③ ジャガイモの施肥量の目安

肥料名	成分	施用量
畑のカルシウム	カルシウム28.5%	100kg
苦土重焼燐	0-35-0	40kg
さんぶジシアン有機特806	8-10-6	200kg

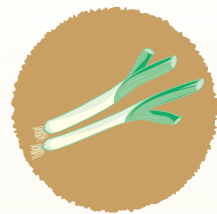
# 農業 テクニカル ダイアリー

Agricultural-work technical diary



# 秋冬ネギ

成東経済センター  
営農指導員 椎名 康隆



## 難防除病害

### ●小菌核腐敗病

小菌核腐敗病は、ネギの難防除病害の一つです。栽培環境が多発条件に近い年は被害が大きく、過去にも数年に一度の間隔で大発生しています。気温が10〜15℃の冷涼な時期に降雨が続くと発生が多くなります。特に夏から秋にかけ涼しく、冬場に降雨が多い年に多発するため、現在出荷中の秋冬ネギや、今後出荷を迎える春ネギにおいては発生しやすい条件となっており、注意が必要です。

本病は糸状菌(カビ)によって引き起こる病害で、葉鞘部の表面に黒色、楕円形〜不整形でやや盛り上がった菌核を多数形成します(写真①参照)。病斑を中心に縦に亀裂(縦割れ)が入り(写真②参照)、内葉が突出することもあるため、商品価値を著しく低下させます。

防除対策は、①発生圃場での連作は避ける、②発生地では圃場の土壌消毒を行う、③多肥栽培は避けて施肥は適正にする、の3つです。発病の恐れがある場合は、土寄せ前に登録のある薬剤を使用し防除を行ってください(表①参照)。



写真① 小菌核腐敗病の菌核

### ●黒腐菌核病

小菌核腐敗病と並んで難防除病害の一つで、糸状菌(カビ)が原因で起こる病気です(写真③、④参照)。主に晩秋から春先にかけて(気温10〜15℃の寒い時期)発病します。初めは葉先が黄白色になり、次第に葉全体が黄白色に枯れ、株が萎凋(しおれ)します。そのため、生育が停止し、最終的には枯死します。被害株を引き抜くと、根が腐敗しているため簡単に引き抜けます。重症の株は根が腐敗して全く無くなり、地際部にはゴマ状の小菌核粒が形成され、黒色のコブ状、カサブタ状になります。

被害の大きい圃場では、薬剤による土壌消毒を行う必要があります(表②参照)。また、発病地での育苗や連作の回避、30cm以上の深耕など、耕種的防除を組み合わせて行ってください。



写真② 小菌核腐敗病の縦割れ症状

表① 小菌核腐敗病に登録のある薬剤

薬剤名	希釈倍率	収穫前日数	使用回数	使用方法	効果
スミレックス水和剤	1000倍	21日前まで	3回	株元散布	予防・治療
ロブラール水和剤	1000~1500倍	14日前まで	3回	散布	予防・治療
ポリベリン水和剤	1500倍	14日前まで	3回	散布	予防・治療
アフェットフロアブル	2000倍	前日まで	2回	散布	予防・治療
トップジンM粉剤	9kg/10a	7日前まで	3回	株元散布(散布後土寄せ)	予防・治療

※ポリベリン水和剤はポリオキシシンとイミノクタジンを含むので、他剤との総使用回数に注意してください。

表② 黒腐菌核病に登録のある薬剤(土壌消毒)

薬剤名	使用量(10a当たり)	使用時期	使用回数
ディ・トラベックス油剤	30~40ℓ	播種または植え付けの14日前まで	1回
バスアミド微粒剤	30~60kg	播種または定植14日前まで	1回
キルパー	原液として60ℓ	播種または定植の10日前まで	1回



写真④ 黒腐菌核病の被害株

写真⑤ 黒腐菌核病が発生した圃場

11月の分析経過について

合計4点	
残留農薬分析点数	多成分一斉分析
	秋冬ニンジン…2点(ちばエコ)
	秋冬ニンジン…1点 ニラ……………1点

※残留農薬分析において、基準値を上回る成分は検出されませんでした。

土壌診断点数 ……合計34点